

(様式6-1)

実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	橋梁点検技術者養成講座の実施
助成事業者	宮崎大学
代表者	森田千尋

(目的)

インフラ構造物の老朽化が叫ばれる中，地方においては橋梁保全業務に携わっている技術者が少なく，点検に関する知識を持ち合わせていない場合も少なくない。そこで，宮崎県内の橋梁保全業務に携わる社会人の学び直しとして，自治体職員および建設技術者を対象とした，橋梁点検技術者の養成プログラムを実施した。

(概要)

本活動グループは，長崎大学が実施している「道守」養成講座の道守補コース（橋梁点検講座）を，2017年から宮崎で実施している。本講座は，国土交通省に技術者資格登録（コンクリート橋，鋼橋およびトンネルの点検の担当技術者）された養成プログラムであり，本年度は以下の内容で実施した。

【期 間】令和元年10月23日(水)～31日(木)の内の5日間

【応募者数】20人

【受講者数】16人

【実施場所】宮崎大学工学部講義棟，土木工学実験棟，県内現場（国土交通省宮崎河川国道事務所および宮崎県県土整備部より提供）

【カリキュラム】講義32（座学14，演習8，実習10）時間＋試験1時間

【講師陣】宮崎大学工学教育研究部，工学部国際教育センター，産学・地域連携センター，工学部教育研究支援技術センター，長崎大学大学院，宮崎県県土整備部，三菱日立パワーシステムズ検査(株)，(株)共同技術コンサルタント，基礎地盤コンサルタンツ(株)，日本工営(株)

受講生は，技術者数が少ない企業からの参加が多く，東京，大阪，福岡などで開催される講習会には参加が難しいが，地元宮崎での開催であれば，小さな企業でも受講可能であるのではないかと考えられる。一方で，ある程度大きな企業からの参加が年々増えており，宮崎県内においても本講座の意義が徐々に浸透して来たと考えている。アンケート結果より，受講生からの評価は概ね好評であり，事業の継続あるいは拡大が望まれている。一方で，開催時期や宮崎県独自の点検マニュアル作成等の要望もあり，改善すべき点も明らかとなった。これらを改善しながら，宮崎大学，宮崎県，および関係機関と検討し，宮崎においても橋梁点検技術者を認定できるシステムを構築したい。